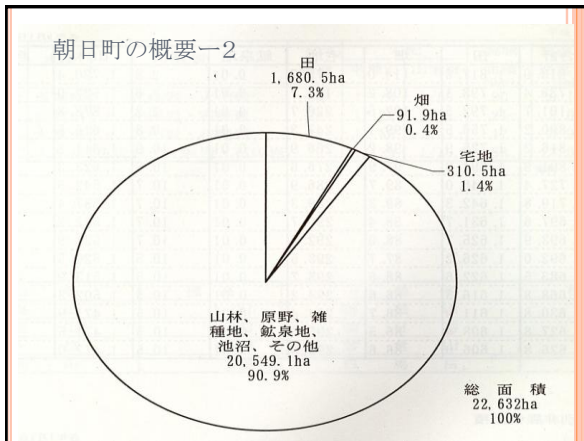
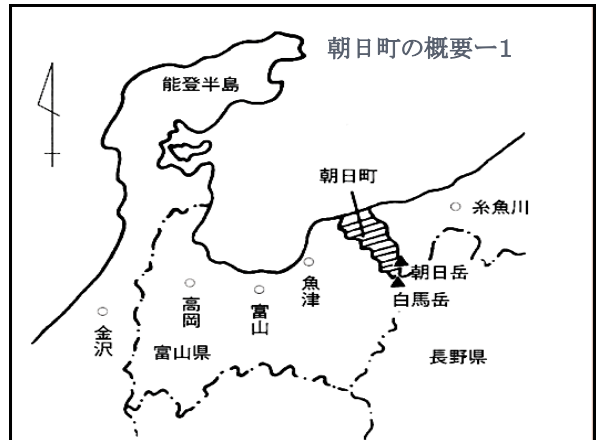


地域ぐるみで取り組む鳥獣被害対策の事例

～有害鳥獣に強い町づくりをめざして～

朝日町産業課 主任 右井智樹



朝日町の概要一3(平成24年1月)

- 人口 13,806人
- 世帯 5,013世帯
- 人口比率
 - 0～14歳 →9.4%
 - 15～64歳 →55.5%
 - 65歳以上 →35.1%
- 全体面積 22,632ha (226.32km²)

朝日町の有害鳥獣(被害額の多い順)

- イノシシ
- ニホンザル
- カラス(ハシボソ、ハシブト)
- ツキワグマ
- ハクビシン
- アナグマ
- ニホンジカ

鳥獣被害に対する農家の意識一1

平成14年～16年頃は役場へ

- サルが出た。すごい！！
- カラスに稲を踏まれたらどうしてくれる？
- 野菜や米の補償してくれるのか？
- 役場はなにもしてくれない。また、する気もない。

鳥獣被害に対する農家の意識一2

町職員が現地へ行くと

- 来るのが遅い……もう猿はおらんぞ！
- 荒らされた畑を見る。何とかしろ～！
- サルやイノシシが毎日くる
- 猟友会は撃つ気がないのでは……
- 猟友会は何処を回っているのか！ さっさと撃て！

「有害鳥獣に強い町づくり」を推進するため

- 地域住民及び農家を集め、座談会を開催
- 朝日町有害鳥獣対策協議会の設立
- 電気柵の整備と併せ大規模緩衝帯を整備
- 捕獲体制の整備による捕獲活動の強化
- 地域の住民から電気柵の維持管理費として基金を徴収

平成14年度～平成16年度

- 農家及び地域の住民が日頃思っていることを伺う必要がある。
- 町が日頃思っていることの説明。
- 鳥獣対策に協力していただいている猟友会が日頃思っていること説明

↓
座談会を開催

話し合いにより見えてきた考え方の違い

「住民の考え」

- ・猟友会は獣を撃ちたい集団
- ・獣を撃ちたい集団だから、畑を守りたい自分たちと利害が一致する。
- ・昔から、有害鳥獣は猟友会のするべき事だと思込んでいる。
- ・町(行政)は、畑に出た鳥獣対し、対策や援助をするのが当たり前
- ・行政+猟友会が守ってくれるから自分たちは田畑を作っていればよい。

etc……

「猟友会の考え」

- ・狩猟を楽しむ為の会であって、有害鳥獣対策を行う為に、経費のかかる鉄砲を所持している会ではない。
- ・趣味の会であって、行政の一部機関ではない。
- ・地元住民が農作物被害に遭って困っているから仕方なく、協力している。
- ・現場に向かえば、遅いと怒鳴られ、何のために来たのか分からない。協力しているのに……

もんもん……

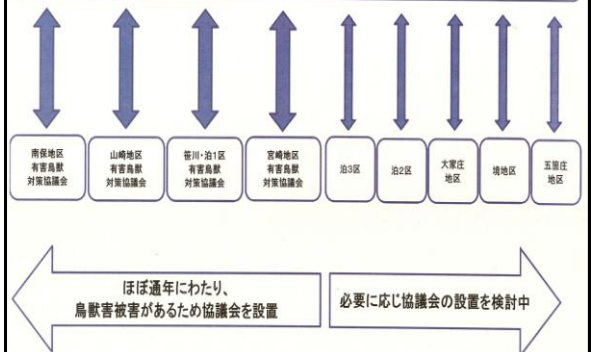
- 年に数回でも、有害鳥獣に対しての対策を話し合う。

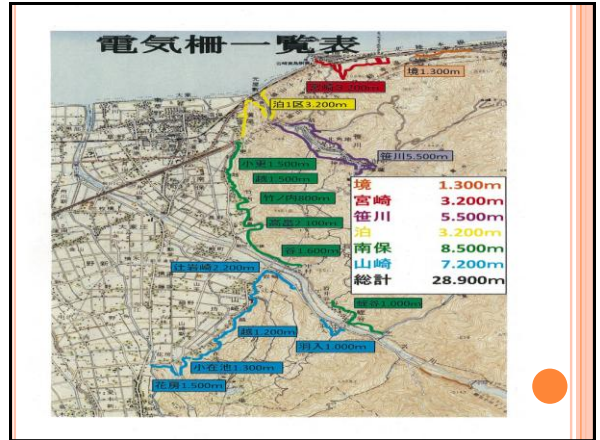
年間を通じ鳥獣対策の意見交換をおこなうことが本当に大切なこと
「継続的にこれ必須」！！

↓
平成16年度協議会設立

朝日町有害鳥獣対策協議会

事務局：朝日町産業課

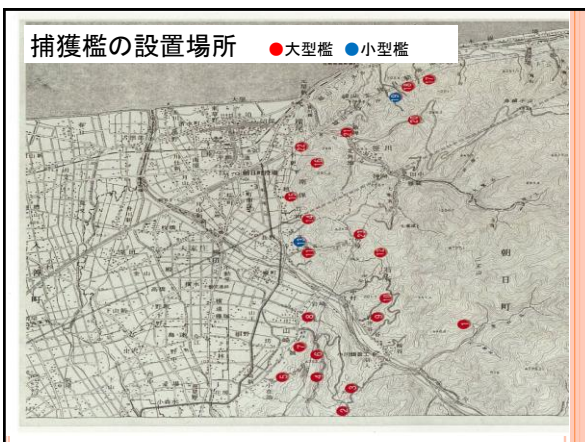




朝日町のわな捕獲体制

対象地区 朝日町中山間地全域

- ①班体制 3班(笹川班、南保班、山崎班)
- ②班員の人員 1班—およそ10名ずつ
- ③班員の構成 第1種4名、わな免許6名
- ④捕獲檻の数 各班8基×3班=計24基
- ⑤エサ コスカのみ
- ⑥エサ調達先 朝日町管内にある、米コイン機
- ⑦見回り方法 各班独自に実施



箱ワナの選定

- ◆大きさ 高さ1m×幅1m×長さ2m
- ◆網目 15cm 6mmメッシュ
- ◆両面扉・ストッパー・天井に30cmの穴
- ◆軽四自動車にのる。
- ◆カモシカも入る。4分のベニヤがよい。
- ◆7回も入ったクマがいる。
- ◆これより大きい箱ワナはイノシシでも壊す。

※5m×4mのオリ、3ヶ月と20日 オスイノシシ



どうすればイノシシが捕れるのか？

- ◆特効薬はありません。
- ◆やる気があれば、誰にでもイノシシは捕れる。
- ◆まずは行動すること。
- ◆根気、忍の一文字

銃による捕獲
↑正反対の猟法↓
檻ワナによる捕獲



鳥獣害対策 十か条

1. 草むしりもできる！
2. 家畜柵を締ろう！
3. けさ被害が起きるのかよく考えよう！
4. 獲物に守りたい農産物は獲物に守ろう！
5. 空き缶の回収！
6. 獲物貯り年しだい！
7. 遠くへ逃がす！
8. 近づかない！
9. 獲物しずまい！
10. 獲物と大規模被害は被害の手前！

富山県 朝日町

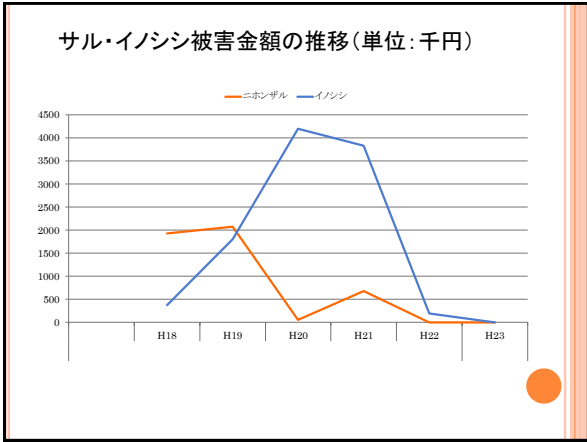
鳥獣害対策 十か条

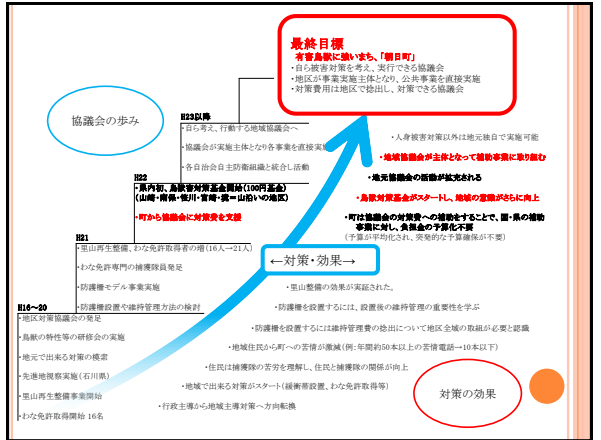
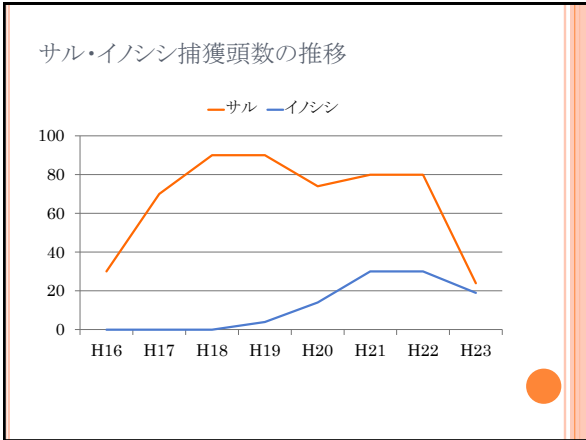
これならできる！

鳥獣害対策 実践マニュアル

目次

- 1. 鳥獣害対策の重要性と鳥獣害対策の目的
- 2. 鳥獣害対策の考え方と鳥獣害対策の種類
- 3. イノシシの生態と被害
- 4. ニホンザルの生態と被害
- 5. カラスの生態と被害
- 6. パンビンの生態と被害
- 7. ツメの生態と被害
- 8. ツメの生態と被害
- 9. ツメの生態と被害
- 10. ツメの生態と被害





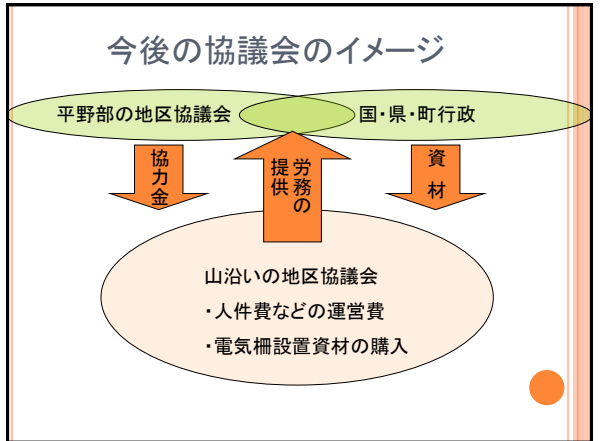
今後の課題

- 電気柵の老朽化に伴う資材の購入
- 作業者の高齢化

対応案

- 国や県に働きかけ、電気柵の補修資材を購入できる交付金の設立を要望。それまでは、町単独で資材を提供
- 労働の対価として賃金を支払う体制を整備する。

平野部地区からの協力金



ありがとうございました。